

環境基本計画改定に伴う市民ワークショップの開催について

1 開催目的

- ・近年の社会状況や市民生活の変化等により「環境」の概念は、エネルギー、緑、水、大気、ごみ、生物多様性、都市環境など、多様化している。
- ・持続可能な社会形成には、この多様化している「環境」の概念を的確に捉え、市民生活の実感に沿った環境施策を展開していくことが必要である。
- ・そのため、無作為抽出（1,000 名）及び公募市民による市民ワークショップを開催するとともに、今後、多様な市民意見を踏まえた議論を図りながら、「第四期環境基本計画」を策定するものである。

2 開催日程及び場所

日程：9～10月の3日間程度を予定（多くの参加者を募るため、平日夜間、休日昼間に予定）

場所：市役所会議室ほか（場合によりコミセン会議室等、市内三圏域での開催も検討）

3 参加者人数

ワークショップへの参加者数は3日間合計で100～150名程度を想定

4 公募方法について

- ・無作為抽出（1,000名）及び公募市民（手上げ）により参加する市民
- ・無作為抽出方式

本市の環境や関連する施策について関心があっても意見等を表明してこなかった層に対し、意見等を述べる場を提供する。

20歳以上の市民1,000名（市報で、無作為抽出による選出について周知）に対し発送。

原則、希望者全員を当選とするが、想定以上の多数であった場合には抽選等を行う。

- ・公募形式（手あげ）

もともと本市の環境や関連する施策について関心があり、意見等を表明している市民に対しても場を提供する。市報、HPで公募する。

5 実施方式について

原則として、同一テーマによる1回あたり30～50名程度のワークショップとするが、応募人数により、単発のワークショップとしない場合も検討する。

6 検討テーマについて

市の環境全般に関するテーマを設定する。

例) 持続可能な社会、スマートシティの形成、生物多様性保全、エネルギー対策、環境の安全安心対策、武蔵野市の保全すべき環境、武蔵野市らしさと環境、武蔵野市が考慮すべき環境 等

7 その他

多様な市民意見を聴取する観点から、今後アンケート等の方式で意見を聴取する手法についても検討する。